

Good Change for the World

# グッドネーバーズ・ジャパン 年次報告書

# 2023

2023.1 - 2023.12

# ごあいさつ

グッドネーバース・ジャパンは、2024年12月に設立20周年を迎えます。この20年間、多くの方々のご協力により、海外そして国内の子どもたちや自然災害/紛争等の被災者の方に必要な支援と未来への希望を届けるため全力を尽くしてまいりました。

あらためまして、私どもグッドネーバース・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆様に感謝申し上げます。今年も、昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。

昨年は、グッドネーバース・ジャパンの職員が50名を超え、国内では首都圏・近畿圏に次いで九州地方でも食品配付事業「グッドごはん」の拠点を開設することができました。海外では7か国で子どもスポンサーシップ事業を、6か国で日本スタッフが人道支援プロジェクトを実施し、バックオフィスの体制も強化することでより多くの人々に支援を届ける体制が整いました。これもひとえに皆様のご理解とお力添えのおかげです。

昨今、世界中で発生する紛争・感染症・気候変動・物価高騰など様々な脅威や、デジタル化・グローバル化といった変化が急激に押し寄せ、未来の予測が困難なVUCA\*の時代といわれています。今まで当然とされてき

たことや価値観が揺らぎ不確実性が高まる中、私たちが積み重ねた20年という実績や経験は強みではあるものの、それに捉われず柔軟な思考と広い視野を持ち、課題の解決のため新たな挑戦が求められていると考えます。

私たちの使命（ミッション）は、活動を支えてくださる皆様のような国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除き子どもたちの未来を守ることです。直面する課題はますます複雑化していますが、だからこそ私たちの使命は一層重要となります。子どもたちの未来のために、私たちの取り組みと挑戦は続きます。

福井 玲

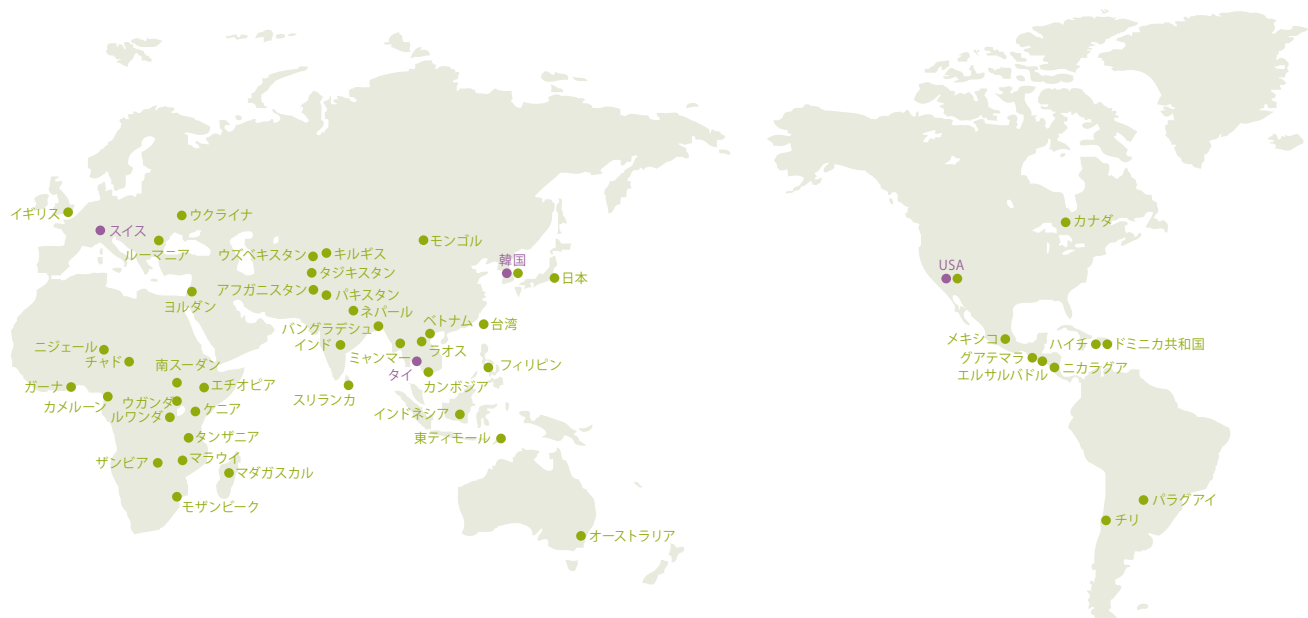
グッドネーバース・ジャパン会長  
東京大学名誉教授



\*VUCA：「Volatility：変動性」、「Uncertainty：不確実性」、「Complexity：複雑性」、「Ambiguity：曖昧性」の頭文字をとった造語で、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態を指す

# 活動地域

● 事業実施国 ● グローバルオフィス




# 活動分野



支援する  
子どもと家族

 教育・子どもの保護	 水・衛生	 保健・医療	 収入向上
 地域パートナーシップ & ネットワーク構築	 アドボカシー	 緊急支援	 ボランティア

## 2023年の成果



海外

世界中で21万人以上の子ども達を支援しています。



地域開発プロジェクト  
6,667,949人

 教育支援 1,553,149人	 保健・医療支援 2,236,598人	 水・衛生支援 518,575人
 収入向上支援 95,810世帯	 アドボカシー 1,295,040人	 緊急支援 1,575,436人



国内

 支援世帯数 延べ 29,362世帯	 支援した子ども 延べ 57,228人
---	---

# 教育



貧困・児童労働・差別など、困難な環境に置かれた子どもたちに教育の機会を提供し、質の高い教育を通じて貧困のスパイラルから脱し、未来への希望を持つことができるように支援します。

理系科目の理解を深める中学生  
(タンザニア)

## タンザニア

### 理系科目の壁を克服

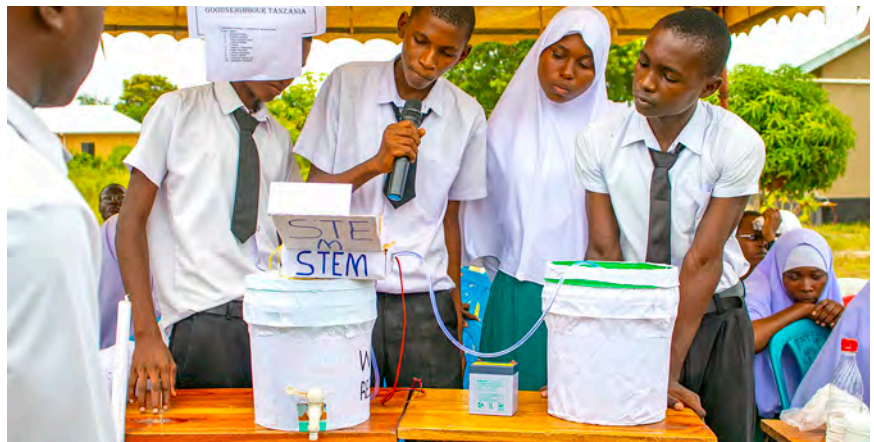
対象中学校における  
国家試験合格者の割合



STEMクラブに参加し、私も夢を叶えられるかもしれない!と感じました。私は、自分の住む村の問題を解決する科学者になりたいです。コンテストで2位になり、両親も応援してくれています!

モリン・ガブリエル・マサウイ  
中等学校4年生

タンザニアの中学校に通う生徒たちは、高等教育に進学するために国家試験に合格する必要があります。しかし、数学や科学などの理系科目で基準点数に達しないため、留年してしまう学生が少なくありません。グッドネーブーズは生徒たちがSTEM（科学、技術、工学、数学）科目に興味を持てるよう、中学校に実験室と実験器具を提供しました。また、実生活に適用できるプログラムを通じて各科目の理解を促し、STEMクラブやコンテストを実施することで、友達と共に学習に取り組む機会をつくりました。このような多様な経験を通じて、生徒たちは成績の向上とともに、学習に対する自信と意欲を築いています。



STEMコンテストで発表する生徒たち

## グッドネーブーズ・ジャパンの成長ノート①

「朝起きて、ぼくが一番最初にすることは、本を読んだり勉強したりすることです」



ネパールのバジュラ地域で、両親と共に暮らしているプリンスくん。現在、幼稚（保育）園に通っています。将来の夢は医者になることです。もし動物に変身できるとしたら、ジャングルの王様・ライオンになりたいそうです。

グッドネーブーズは、バジュラを始め10以上の地域で、教育支援や水・衛生環境改善など様々な事業を展開し、ネパールの子どもたちの成長を支えています。

## 保健・医療



子どもや地域住民に対し、専門的な保健医療施設や医療人材、物品を支援することで、大切な命を守ります。また、地域住民の中から保健員を育成し、健康的に暮らせる地域づくりを推進します。

母子の命を守るための適切な医療環境を整備(カンボジア)

### カンボジア

## 母親と赤ちゃんの命を守る

カンボジア北東部に位置するラタナキリとモンドルキリは、病院や医療従事者が不足しており、医療環境が整っていないため妊婦や乳幼児の死亡率が高い地域です。グッドネーバーズはこの2つの地域で、お母さんと赤ちゃんの命を守るために、保健医療施設を改善し、緊急時にも手術ができるよう支援しました。また、医療従事者のスキルを高めるための教育や、病院に来るのが困難な母子のための訪問診療サービスを実施。さらに、お母さんたちが出産前後に適切な検診を受けられるよう支援し、質の高い医療スタッフのいる病院で健康な赤ちゃんを出産することの重要性を地域住民に教えることで、命の大切さを伝えました。

専門人材による  
各村への訪問診療サービス提供

295村 74,375人

グッドネーバーズのおかげで、定期的に病院に行き、清潔な環境で検査を受けることができました。医師からお腹の赤ちゃんについて説明を受け、順調に育っていると知り、安心しました。

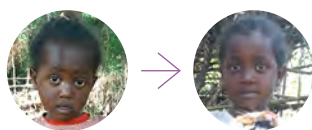
● 元気な赤ちゃんを出産した住民の一人



出産前後の適切な管理の重要性を伝える

### グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート②

「あなたからのご支援で一番感謝しているのは、きれいな水を飲めることです」



2020

2022

セブレちゃん 6歳 エチオピア

セブレちゃんは、エチオピア南部のシダマ地域に、父親、母親、姉妹2人と一緒に暮らしています。大きな病気やケガもせず、元気に過ごしています。優しい性格で、絵を描くのが好きです。サポーターさんと一緒にやりたいスポーツはサッカーだそうです。

グッドネーバーズは、エチオピアの7つの地域で子どもの教育や保健の支援、また子どもたちの親を対象とした収入向上支援を行っています。

## 水・衛生



人々が安全な水にアクセスできるよう、水・衛生環境の整備はもちろん、地域住民が自ら衛生的な環境を作り、維持管理するための研修や、衛生習慣の定着を目指した啓発活動も行っています。

新設された手洗い場で手を洗う子ども  
(モザンビーク)

### モザンビーク

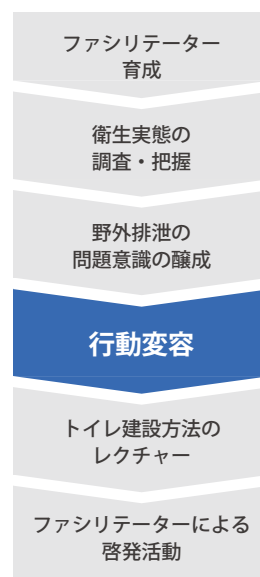
## 安全な水と 衛生環境で 地域社会を変える



養成したファシリテーターが  
家庭用トイレの建設進捗を確認する様子

グッドネーブーズ・ジャパンは、モザンビーク共和国ガザ州にて、地域住民が衛生的な環境で暮らせるよう、安全な水や清潔なトイレを整備する事業を行っています。第1年次には同州マサンジェナ郡にて、給水施設、学校・家庭用トイレの建設や衛生啓発活動（Community-Led Total Sanitation、以下CLTS活動）などを行いました。これにより30分以内に水汲みできる住民の割合は18%から99%に増加、家庭用トイレの所有率は42%から84%に増加しました。またCLTS活動では住民参加型のワークショップを行い、7つの地域で野外排泄ゼロを達成することができました。第2年次は野外排泄が習慣化している同州シブド郡にて、家庭用トイレの建設促進のため、トイレ建設に必要なスラブ(床板パーツ)の作成研修を継続して行っています。これにより地域の衛生環境が改善され、住民が健康的に過ごせるようになることが期待できます。

### CLTS活動の主な流れ



※この事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。



### ネパール

## 安心して 学べる学校へ 衛生教育で広がる 未来



対象校の譲渡式に参加するGNJPスタッフ

ネパールのムグ郡は山岳地帯に位置し、首都や近郊都市からの交通アクセスの悪さ等から水衛生設備の整備が遅れています。グッドネーブーズ・ジャパンはムグ郡において3か年の水衛生支援事業を対象の小中学校に実施し、衛生設備の建設を進めてきました。第3年次事業では、11校の小中学校に飲料水供給設備、7校に男子バリアフリートイレ、9校に女子バ

リアフリートイレ、11校にごみ処分設備を建設しました。さらに対象の小中学校に通う児童生徒や学校教員、またコミュニティの住民へ衛生教育や女性の月経期間隔離に対する啓発活動なども実施しました。全3か年にわたる事業で合計34校の水衛生環境を整備し、学校コミュニティ全体の衛生知識の向上に尽力しました。

※この事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。



# 収入向上支援



多様な教育・専門技術支援を通して、経済的に困難な人々の収入向上と自立を支援しています。難民受け入れ地域では、起業支援などを行い、難民とホストコミュニティの生計向上を目指しています。

売店を営む難民の様子  
(エチオピア)

## エチオピア

### 起業と農業支援で 難民と地域住民の 生活を支える



ホストコミュニティ住民が製粉所を運営する様子

売れ行きがとても良いので嬉しいです。お客さんと丁寧に接し、キャンプで信頼される売店にしたいです。

● 起業支援を通して  
新たに売店を始めた支援対象者

事業対象地域のツォレ難民キャンプは、主に隣国の南スーダンやスーダンからの難民を受け入れています。多くの難民は収入を得られず、援助団体による食糧配給など外からの支援に頼らざるを得ない状況にあります。難民キャンプの周辺地域ももともと平均収入が低い地域であり、開発が遅れています。そこでグッドネーブーズ・ジャパンは、難民とホストコミュニティに対し生計向上支援を実施しました。難民に対しては起業研修や、ビジネスを行う市場施設の建設を始めとした起業支援を行い、支援対象者の平均月収は支援前後で約70%増加しました。一方、ホストコミュニティでは製粉所の設立を支援し、現地の組合に譲渡しました。この設備により当地域の食文化上、必要不可欠な穀物を製粉するサービスを提供するビジネスを行うことができ、収入増加に繋がっています。さらにホストコミュニティ側の未利用の土地に難民を招き、共同で農業に従事するための種子や農具配付などの支援も行いました。これにより、対象者の平均月収は3倍近くまで増加しました。



34人の難民に対する  
起業支援



難民80世帯とホスト  
コミュニティ10世帯に  
対する生計活動を拡大  
するためのローン支援

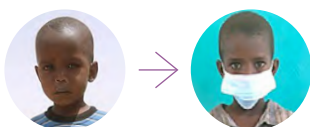


難民101世帯とホスト  
コミュニティ121世帯  
に対する集団農業支援

※この事業は、ジャパン・プラットフォームの南スーダン難民緊急支援事業です。

## グッドネーブーズ・ジャパンの成長ノート③

「ぼくがとても幸せな気持ちになるのは、  
他の人の手助けをするときです」



2015

2022

サレくん 11歳 チャド

サレくんは、チャドのファシャアテレ地域に両親、兄弟2人、姉妹2人と暮らしています。グッドネーブーズが運営するヨナスクール小学校の3年生です。スポーツが好きで、活発な子です。父親が農業で生計を立てています。

グッドネーブーズは、チャドの子どもたちの環境を良くするため、首都ンジャメナ近郊の5つの地域で学校運営などの教育支援、水・衛生支援等を行っています。

# アドボカシー



全ての人の権利が守られる社会を目指し、アドボカシー活動に取り組んでいます。政府への政策改善の提案やキャンペーン等を通して、人々が自身の権利について知り、行動に結びつけられるよう働きかけます。

2023年国連難民フォーラムの様子  
(GNJPスタッフ撮影)

## 国連難民フォーラム： GNJP の難民支援

昨今拡大する紛争や気候変動、その他様々な要因により、家を追われ、避難民となる人の数は世界規模で急増しています。その数は2023年末で1億1,700万人、日本の人口規模に達するのも時間の問題となりました。これら避難者らの多くは女性や子どもです。また突然の退避により、着の身着のままの状態での移動を強いられます。

グッドネーバース・ジャパンはグッドネーバース・インターナショナルと共に、2023年12月に開催された世界最大の難民支援に関する国際会議「第2回グローバル難民フォーラム」の本会議出席およびサイドイベントの実施を通じ、難民支援への取り組みを協議するとともに、今後4年間で

2,096万米ドル規模で計28万6千人の支援に寄与することを宣言しました。

グッドネーバース・ジャパンは故郷を追われ困難な生活を強いられている避難民の命と生活を守るため、物資支援から自立支援まで各地のニーズに応えた難民支援を行っています(以下避難民支援の一部)。

- ・ウクライナ難民支援(ルーマニア)：ルーマニア東部、ガラツィ市に避難するウクライナ難民への食糧・医療支援、生活・教育環境整備、心理社会的支援(Psychosocial Support)\*
- ・ウクライナ難民支援(ルーマニア)：ルーマニア北部、スチャバ市におけるウクライナ孤児への生活、学習、心理社会的支援

- ・スーダン難民支援(チャド)：チャド東部、スーダン難民キャンプにおける水衛生支援
- ・南スーダン・スーダン難民支援(エチオピア)：エチオピア西部における難民・ホストコミュニティの生計向上、平和構築支援
- ・ソマリア難民支援(エチオピア)：エチオピア東部難民キャンプにおけるシェルター・生計向上支援
- ・モザンビーク国内避難民支援：モザンビーク北部における国内避難民への水衛生支援

\*心理社会的支援(Psychosocial Support)：戦争や自然災害などで辛い思いをした人たちに対し、PTSD(心的外傷後ストレス障害)やうつ病などを予防・回復するための心のケアのこと



「グッドネーバース・ジャパンは4年間で2,096万米ドル規模の支援を国内避難民、難民、受け入れコミュニティに対し行います。紛争や災害影響国において食糧、現金、物資などの緊急支援から、持続可能な生計手段の提供、平和構築や社会統合促進を行うことで、HDPネクサス\*に貢献します。これにより、計28万6千人の命と人権を守ることができます。」

\*HDPネクサス(人道 Humanitarian — 開発 Development — 平和 Peace の連携 Nexus)：人道支援と並行して、難民の自立支援や受入国の負担軽減のための開発協力を行い、さらに根本的な原因である紛争の解決・予防に向けた平和の取り組みを進めるアプローチのこと



Bangladesh

# サイクロンから 身を守る力を

毎年のように大型サイクロンにより甚大な被害を受けている Bangladesh では、シェルターの建設修繕や住民の防災対応能力向上支援を行っています。5月には、事業対象地域の村災害管理委員会\*1と共に防災訓練を実施しました。10月には国際防災の日に合わせて、「2023年国際防災の日イベント」を開催。イベントには近隣住民が集まり、防災や避難に関する呼びかけをして町を行進しました。会場では村災害管理委員会や地域のリーダーらが、地域住民に対し被害を最小限に抑えるための避難の重要性や、日頃の災害への備えなどを伝える場を設けました。今後も防災能力の強化のために、引き続き地域コミュニティと協力しながら活動を行っていきます。

グッドネーバーズのプロジェクト前はサイクロン時に何をすれば良いかわからなかったが、今はCPP\*2とも協力し災害時に何をすべきかわかった。本当に感謝している。

● イベントに参加した各村の災害管理委員会のリーダーら

\*2 CPP(Cyclone Preparedness Program) : Bangladesh 政府と Bangladesh 赤新月社が共同設立した半官半民の団体。政府・同社のオフィサーが地元住民のボランティアを組織して活動している

\*1 村災害管理委員会(Village Disaster Management Committee) : 本事業の第1年次において設立した村単位の災害管理委員会。各村を代表して村のニーズを地方行政および区災害管理委員会等の防災担当ステークホルダーへ伝達する役割を担う。



防災呼びかけの様子

※この事業は外務省「日本NGO連携無償資金協力事業」です。



## グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート④

「あなたからいただいたご支援を通して、困っている人がいたら、どこにいても分かち合えることを学びました」



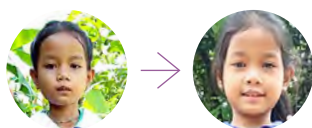
2013 2022  
マウリアナさん 18歳 インドネシア

マウリアナさんは、インドネシアのムラボ地域に両親、兄弟姉妹と共に暮らしています。学校から家に帰ると、普段は家で掃除、料理などの両親の手伝いをしています。18歳を迎えてグッドネーバーズの支援を卒業し、今後は大学で勉強を続ける予定です。

グッドネーバーズはインドネシアで、教育・子どもの保護・保健医療・収入向上などの支援活動を行っています。

## グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート⑤

「わたしがとても幸せな気持ちになるのは、友達と遊ぶときです」



2021 2023  
チヴァちゃん 8歳 カンボジア

両親は隣国タイで働いているため、チヴァちゃんは祖母、兄弟2人とカンボジア北西部のオーチュローブに住んでいます。大きな病気やケガもせず元気に過ごしています。この地域の子どもの親の多くは、出稼ぎに行き日雇い労働者として働いていますが、生活は楽ではありません。

グッドネーバーズはカンボジアにおいて、子どもたちの成長を支えるため、給食の提供や情操教育、水・衛生支援等を行っています。

# グッドごはん



※イメージ

## 2023年の成果



2023年の  
延べ支援世帯数  
29,362世帯



支援した子どもの  
延べ人数  
57,228人

## グッドごはんの輪を広げ、子どもたちをもっと笑顔に

2023年は新型コロナウイルスの影響から社会が徐々に日常を取り戻し始めた一方で、世界的なインフレが起きました。これにより物価上昇が続き、低所得のひとり親世帯は経済的に大きな打撃を受けました。このような社会情勢の中、グッドネーバース・ジャパンは国内ひとり親家庭のためのフードバンク「グッドごはん」を通じ、延べ29,362世帯のひとり親家庭に食品を配付しました。

### 九州エリアでの配付を開始

グッドごはんの他地域への事業展開を求める声を多く頂く中、皆さまのご支援のもと九州エリアでの活動を開始しました。事前の調査や現地団体などへのヒアリングにより、九州はひとり親世帯の割合が日本全体と比べて高いこと、また九州は困窮するひとり親家庭など支援が必要な人のための食品支援



インフラが不足しているという課題が明らかになりました。支援を必要としている九州のひとり親家庭に食品を届けるために、私たちは佐賀県鳥栖市に食品倉庫を新設し、10月より佐賀県と福岡県で配付を開始しました。

### 食品産業もったいない大賞を受賞

グッドごはんは、公益財団法人食品等流通合理化促進機構が主催する「第11回食品産業もったいない大賞」において、「農林水産省大臣官房長賞」を受賞しました。この賞は、食品産業の持続可能な発展に向け、食品産業全体での地球温暖化防止や食品ロス削減等を促進することを目的とした表彰です。グッドごはんはパッケージ破損など販売が難しいものや、家庭内で余った食品などをご寄付として受け付けており、貧困対策だけでなく食品ロスの削減にも貢献しています。今回はグッドごはんの事業規模の拡大とそれに伴う社会的インパクトが評価され、受賞に至りました。

### 利用者向けイベントを開催

家庭の経済状況の違いなどを背景に、子どもの体験機会に差が生まれる「体験格差」という課題があります。私たちは環境によらず、子どもたちが様々な体験を通して好奇心や自信



を育む機会を得ることが大切だと考えています。そこで企業様と連携し、グッドごはん利用家庭が親子で参加できるイベントを開催しました。その一環で実施した、航空事業を手掛けるルフトハンザグループ様のチャリティ組織であるヘルプ・アライアンス様とのイベントでは、グッドごはん利用家庭の親子が貨物機のコンテナへのペインティングやコックピットの見学などを体験しました。

【他イベント実績(順不同)】 ()内は連携企業様：カルビースナックスクール(カルビー株式会社様)・キックマンしょうゆ塾(キックマン株式会社様)・BEAMS衣服提供・フィッティングイベント(株式会社ビームス様)

# 子どもの成長と家族の絆を支えるグッドごはん

## —アンケート結果から見る効果—

グッドネーバース・ジャパンは、ひとり親家庭の状況を把握するため、グッドごはん利用者を対象にアンケート調査を実施しています。2023年度は暮らしの状況やグッドごはんの効果に関する調査を実施しました。

6月に実施した暮らしの状況に関するアンケート調査では、「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した人が、全

体の9割近くに及びました(図1)。また、昨今の物価高騰は、困窮するひとり親家庭の生活状況をさらに追い込んでいます。グッドごはん利用者からは、「生活する為の物全て値上がりしているため、食費を削るしかないのが現状です。」といった声が寄せられました。

### グッドごはんがもたらす効果

グッドごはんの活動は、このような厳しい生活を送るひとり親家庭を支えています。グッドごはんを継続的に利用している人を対象に11月から12月にかけて行ったアンケートでは、回答者の97.7%が利用開始以降、「家計が改善した」「家庭内のコミュニケーションが増えた」などポジティブな変化を実感していることがわかりました(図2)。また、「利用前と比

べて将来への見通しや希望が広がったと思う(とてもそう思う・ややそう思う)」と回答した人は63.2%で、回答者からは「(利用以降) ところが強くなれて、本当に救われました」といった声が寄せられました。

さらに、子どもたちにも良い影響がみられます。グッドごはん利用者からは、「お菓子をもらえるようになったので、勉強に取り組む時間が長くなった」といった前向きな変化に関する声が寄せられました。

食の支援は、家計のみならず子どもたちの健康や成長など、生活の様々な側面に良い効果をもたらします。皆さまのご支援が、ひとり親家庭の大きな助けとなっています。

図1 暮らしの状況

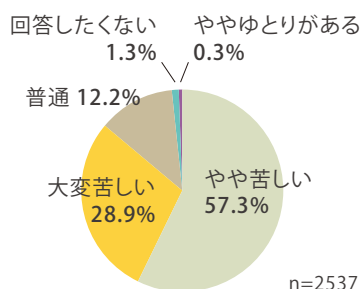
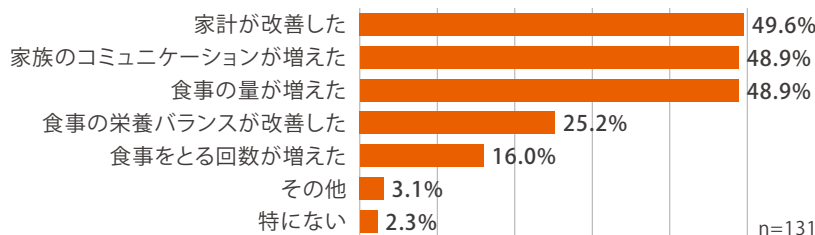


図2 グッドごはんを利用する前後で家庭に起きた変化(複数回答)



### 子どもの前向きな変化に関するグッドごはん利用者の声

- 困った時に助けてもらえるのはありがたいねと感謝の気持ちを言うようになりました。
- 貧困や、母子家庭について考えるだけでなく、世界情勢にも目を向けて物事を考え、微力ながらも自分がそれらに対して、何が出来るかを考えて生活するようになりました。



※イメージ

## 2023年の人道支援



自然災害や紛争は多くの人々の日常を奪い、命を脅かします。とりわけ、女性や子どもを始めとする社会的弱者は更なる困難に陥るリスクがあり、人道支援はこれら突発的な脅威に直面している人々の生活を守り、支えるために不可欠なものです。グッドネーバースは助けが必要な場所には人種・宗教・思想・地域を超えてどこでも駆けつけ、国内外のパートナーと連携しながら、困難に直面した人々に最も必要なものやサービスを提供します。2023年は、長期化するウクライナ危機を始め、世界各地で発生した自然災害や紛争等の人道危機下で、計1,575,436人の人々を支援しました。

2023年2月、大地震に見舞われたトルコの被災地

## グッドネーバース・ジャパンの海外緊急支援

### 【ウクライナ危機】

#### 心理社会的支援(PSS)

ウクライナでは依然として深刻な人道危機が続いています。特に子どもたちは、戦争による爆撃、家族や大切な人との別れなどの辛い経験により精神的ショックを受けています。グッドネーバース・ジャパンはこのような子どもたちの心を守るため、ルーマニアに避難してきた子どもたちを対象に心理社会的支援(Psychosocial Support、以下PSS)\*を行いました。

ワークショップでは、写真、絵などを使った様々なアクティビティを行い、子どもたちの記憶や感情を整理する機会を提供します。これを通して自己肯定感を取り戻し、社会とつながっていることを認識できるようサポートすることで、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の予防と回復を図ります。

さらに、子どもたちに向き合いPSS活動を行う現地ファシリテーターを対象にPSS専門家による講義を開催し、PSS手法への理解を深めることで、



PSSワークショップの様子

より質の高い支援を実現するための取り組みも行いました。2023年にはルーマニアのガラツイ、スチャヴァの2カ所で12人の現地ファシリテーターを育成し、192人の子どもたちにPSSを提供しました。

また、GNJPIはこの他にもウクライナ、ルーマニア2か国で現金給付、食糧、シェルター/NFIs(Non-Food Items: 非食糧物資)、越冬支援、教育支援、給

水施設の修繕など多岐に渡る支援を行いました。

\* 心理社会的支援(Psychosocial Support) : 戦争や自然災害などで辛い思いをした人々に対し、PTSD(心的外傷後ストレス障害)やうつ病などを予防し回復を促すために行う心のケアのこと

※この事業は、ジャパン・プラットフォームの助成を受け、認定NPO法人「地球のステージ」のスーパーバイズのもと実施しています。



避難所で物資を配付する様子

## 【トルコ・シリア地震】 現金給付、災害ケースマネジメント、生活用品配付

2023年2月6日、トルコとシリアの国境付近でマグニチュード7.8の地震が発生し、発生直後も余震は収まらず被災者は連日増加傾向にありました。グッドネーバーズは9日に現地入りし、緊急支援を開始。衛生用品や日用品を始めとした救援物資の提供、さらにCFS(チャイルド・フレンドリー・スペース)\*の設置などを行いました。発災か

ら3か月後、グッドネーバーズ・ジャパンは両国にて被災者一人ひとりのニーズに応えるべく、各自が抱える課題や緊急ニーズを調査するための災害ケースマネジメントを開始。また、被災者の方々が食料品や生活用品など個別のニーズに応じた物資を購入できるように、トルコではスーパーマーケットで使用できるカードの配付を、シリアで

は現金の給付を行いました。少しでも早く災害前の日常を取り戻せるよう、今後も支援を継続してまいります。

\* CFS(Child Friendly Space : チャイルド・フレンドリー・スペース) : 被災地域で暮らす子どもたちの心と身体を守ることを目的とした、子どもたちが安心して過ごせるスペースのこと

※この事業は、ジャパン・プラットフォーム助成事業です。

## 【モロッコ地震】 食糧配付、生活用品配付、心理社会的支援(PSS)



CFSにてPSSを受ける子どもたち

2023年9月8日、北アフリカのモロッコ中部でマグニチュード6.8の地震が発生しました。モロッコ国内には山岳地帯やアクセスが難しい地域など、必要な物資や支援が十分に届かない被災地域があります。そこでグッドネーバーズでは、現地の団体と連携しながら食料品、マットレスや毛布などの生活用品の配付を行いました。同年9月末までに400世帯の約2,000人に対して1か月分の物資の配付が完了しています。またモロッコでは災害が少ないため、慣れない災害に直面した子どもたちを始めとする多くの被災者が心理的負担を負いました。そこで医療従事者で構成される現地団体とも連携して、5つの地域で心理社会的支援(PSS)を行い、CFSを設置・運営することで、被災者の方々の心のケアを行いました。

## 企業との連携

グッドネーバース・ジャパンは『子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会』を目指し、国内外で支援活動に励んでいます。しかしこのビジョンは、私たちだけの力では実現できません。賛同し、力を貸してくださるパートナーの存在が不可欠です。とりわけ企業の力は、私たちの活動の様々な場面で必要とされています。

2023年も、多くの企業の皆さまから、ご寄付、食品等物資のご提供、広報、ボランティアご参加など、様々な形で力強いご支援をいただきました。

### 協力企業 ご担当者様インタビュー

#### J.P. モルガン 加藤大さま

世界有数のグローバル総合金融サービス会社である J.P. モルガンは、社会貢献活動にも積極的に取り組まれており、その一環として、2020 年から継続的に、グッドネーバース・ジャパンが国内で運営するひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」に食品をご寄付くださっています。「グッドネーバース・ジャパンがひとり親家庭への食支援を行っている」と知り、過去の CSR 活動でも取り組んできた

テーマだったので関心を持ちました。食品の寄付を集めてひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」に送る取り組みには、毎年多くの社員が有志で参加しています。この活動が部署内や部署を超えて一緒に取り組む機会になり、とても良いコミュニケーションの場になりました。「入社してよかった」「こういう取り組みをしている会社を誇りに思う」という声が上がっています。社会を良くしていきたいという

気持ちは企業も非営利団体も同じですが、それを実行してくれる団体には感謝しています。」

#### J.P.Morgan



インタビュー全文はこちら

[https://www.gnjp.org/reports/detail/20230619\\_suzn/](https://www.gnjp.org/reports/detail/20230619_suzn/)

#### カルビー株式会社 社会貢献委員会 八幡明子 様

「かっぱえびせん」「じゃがりこ」など子どもたちにも大人気の商品を生み出してきたカルビー株式会社。同社は GNJP に対し、災害発生時用の雑巾を寄付してくださっている他、「グッドごはん」を通して、ポテトチップスを始めとする商品をひとり親家庭に届けてくださっています。「当社は食を通して、人々の健やかなくらしに貢献することを理念としている会社ですので、必要とする方々に食品を届けるため、フードバンク事

業に貢献していく必要があると考えています。お菓子は食べると心が嬉しくなるものだと思います。嬉しかった記憶は、後々残っていくものだと思うので、「あの時こんなお菓子食べたね」と楽しい思い出にもなればいいなと思っています。契約農家さんや生産現場で働く者、商品の企画者など多くの方が協力して作り上げた商品が、喜んでくださる方の元に届いていることを嬉しく思いますし、さらには食品ロスの削減に

もつながっていることもメリットだと考えております。」



インタビュー全文はこちら

[https://www.gnjp.org/reports/detail/20231016\\_sak/](https://www.gnjp.org/reports/detail/20231016_sak/)

### ご支援・ご協力をいただいた企業(一部 五十音順・敬称略)

アトミジャパン合同会社  
 アリスタ フードソリューションズ ジャパン株式会社  
 WeSupport Family 事務局  
 株式会社 LK キャピタル  
 大阪ガス株式会社  
 大田区社会福祉協議会  
 株式会社 オンデーズ  
 カルビー株式会社  
 合同会社 きさらぎインベストメント  
 キリンビバレッジ株式会社  
 株式会社 クラダシ  
 京成バス株式会社

一般社団法人 こどもの居場所サポートおおさか株式会社 GN  
 J.M. Huber Corporation  
 J.P. モルガン  
 シオノギ社会貢献支援会  
 敷島製パン株式会社  
 シズる株式会社  
 株式会社 資生堂  
 信一株式会社  
 生活協同組合おおさかパルコープ  
 認定 NPO 法人 セカンドハーベスト・ジャパン  
 大同生命保険株式会社  
 株式会社 DX JAPAN

TM コミュニケーションサービス株式会社  
 株式会社 乃村工藝社  
 HAVI サプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン合同会社  
 株式会社 ビームスホールディングス  
 株式会社 ファイントゥデイ  
 認定 NPO 法人 ふーどばんく OSAKA  
 平和交通株式会社  
 有限会社 間宮プレス  
 ヤフー株式会社 Yahoo! ネット募金  
 株式会社 LATEGRA  
 READYFOR 株式会社

※2023年に100万円相当以上のご支援をいただいた法人を掲載しています

# 会計報告

## 2023年度収支計算書(2023年1月1日～12月31日)

A 経常収益		(単位：円)
受取寄附金		1,186,259,306
受取寄附金	865,402,893	
寄付物資収入	320,856,413	
受取助成金等		1,075,615,428
ふるさと納税交付金	680,000	
助成金収入	1,074,935,428	
事業収益		2,037,912
その他の収益		15,873
<b>経常収益計</b>		<b>2,263,928,519</b>

B 経常費用		(単位：円)
1 事業費		
困難な生活環境にある子ども達およびその家族のための支援事業	海外 457,903,059 国内 1,051,512,057	
大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援事業	海外 792,209,306 国内 21,754,215	
物品の販売事業	486,190	
<b>事業費計</b>	<b>2,323,864,827</b>	
2 管理費	41,791,047	
<b>経常費用計</b>	<b>2,365,655,874</b>	
当期経常増減額 (A-B)・・・①		-101,727,355

C 経常外収益(雑収入)		11,632,087
--------------	--	------------

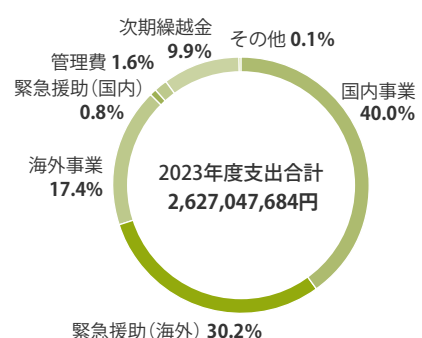
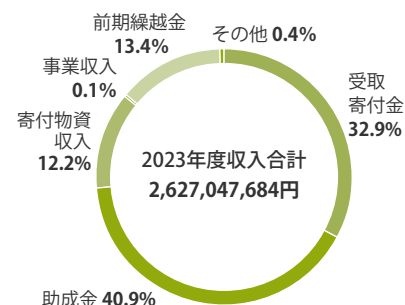
D 経常外費用		0
---------	--	---

当期経常外増減額 (C-D)・・・②		11,632,087
経理区分振替額・・・③		0
税引前当期正味財産増減額 ①+②+③・・・④		-90,095,268
法人税、住民税及び事業税・・・⑤		439,509
前期繰越金・・・⑥		351,487,078
次期繰越金 ④-⑤+⑥		260,952,301
<b>収入合計 (A+C) + 前期繰越金</b>		<b>2,627,047,684</b>
<b>支出合計 (B+D)+⑤ + 次期繰越金</b>		<b>2,627,047,684</b>

### 貸借対照表(2023年12月31日現在) (単位：円)

A 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	479,112,810
寄付物資	54,720,874
商品	1,813,763
貯蔵品	435,098
仮払金	309,005,492
預け金	13,351,020
未収入金	108,842,711
未収助成金等	2,000,000
<b>流動資産合計</b> ・・・①	<b>969,281,768</b>
2 固定資産	
建物付属設備	3,252,040
退職引当	19,000,000
特定資産	
敷金	10,596,000
<b>固定資産合計</b> ・・・②	<b>32,848,040</b>
<b>A 資産合計</b> ①+②	<b>1,002,129,808</b>

B1 負債の部	
1 流動負債	
未払金	105,389,248
未払費用	13,108,253
預り金	388,116
前受金	602,852,390
未払法人税等	439,500
<b>流動負債合計</b> ・・・③	<b>722,177,507</b>
2 固定負債	
退職給付引当金	19,000,000
<b>固定負債合計</b> ・・・④	<b>19,000,000</b>
<b>負債合計</b> ③+④	<b>741,177,507</b>
B2 正味財産の部	
前期繰越正味財産額	351,487,078
当期正味財産増減額	-90,534,777
<b>正味財産合計</b>	<b>260,952,301</b>
<b>B 負債及び正味財産合計</b> B1+B2	<b>1,002,129,808</b>



監査報告書



これは、JANICの「アカウントタビリティセルフチェック2021」マークです。JANICのアカウントタビリティ基準の4分野(組織運営・財務・人材育成・情報の保護と共有)について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

### 役員

- 会長：福井 玲 (東京大学名誉教授)
- 代表理事：小泉 智 (グッドネーバース・ジャパン事務局長)
- 副代表理事：韓 福相 (大阪産業大学教授)
- 物流戦略担当理事：松本 吉広 (黒光商事株式会社代表取締役)
- 経営戦略担当理事：中間 恒輔 (株式会社シービック執行役員経営企画室室長)
- 営業戦略担当理事：川崎 安史 (エンタープライズアドバイザー)
- 理事：崔 玟鎭 (グッドネーバースGPC事務局長)
- 監事：姜 恩和 (目白大学教授)
- 法務顧問：金子 憲康 (弁護士)
- 財務顧問：さくら会計事務所
- 労務顧問：浅井 浩次 (特定社会保険労務士)



**VISION** | 子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

**MISSION** | 国内外のパートナーと共に、貧困および差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

**VALUES** |

- 小さな声への共感力：最も困難な状況にある人々の声を聞き、寄り添う。
- 透明性と誠実さ：被支援者、支援者、パートナーとの信頼関係を重視し、活動の透明性を保ち、説明責任を果たす。
- 学びと成長：子どもを取り巻く環境を改善するプロフェッショナル集団として、社会に対して能動的に関わり、常に学び、成長する。
- 地球の一員：人は皆平等で、地球の一員である。互いを尊重し、敬意を払い、協力する。

認定NPO法人 グッドネーバース・ジャパン

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-60-1 ソメノビル7階

TEL : 03-6423-1768 E-mail : admin@gnjp.org

HP : www.gnjp.org

X (Twitter) : @GNJapan Facebook : gnjapan Instagram : (団体公式) gn\_japan (グッドごはん公式) gn\_goodgohan